

広報

今 帰 仁

なきじん

毎月1日発行

2000

3月

NO.292

●今帰仁村の人口
 男4,810人(-12) 女4,769人(-4) 計9,579人(-16)
 世帯数3,365戸(+5) 平成12年1月31日現在

今帰仁御神



忘れずに村・県民税の
 申告をしましょう！

「納税で支えるみんなの今帰仁村」をスローガンに一月二十六日の今泊を皮切りに二月二十三日まで村内各字で村・県民税の申告が行われた。

仲宗根(写真上)でも朝早くから多くの区民が公民館に詰め掛け、村職員の指導のもとで申告を受けていた。

申告をしないと本人が必要なきに所得証明や課税証明などの発行ができないばかりでなく、健康保険税の減免、国民年金の申請免除審査、児童手当、村立保育所及び村営住宅などの手続きができなくなりますので、村税務課では三月十五日までに申告書を提出するよう村民に呼び掛けている。

今帰仁村民憲章

- 一、 みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、 みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、 みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、 みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、 みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を



▼サワフンを記念植樹する区民

春の訪れを告げる 花見まつりにぎわう 「仲宗根」

恒例となった仲宗根(与那嶺源区長)の花見まつりが二月十三日、同公民館の広場で行われ、大勢の区民でごった返した。これは青少年に夢と希望を与え、緑を大切にす



▲むつみ会の皆さんによる息の合った踊り

たため、「今帰仁の駅、そーれ」後の広場に十二本のサワフジと村道新仲宗根線(村役場前)今帰仁酒造所)沿いに五百本のアジサイを植樹した。



▲売れに売れた婦人会の出店

また、婦人会による出店も大盛況で多くの区民が焼きそばや焼きとり、ホットドッグなどを買い求めていた。

七月に開催される沖縄サミットを目前に控え「よりよい生活環境の向上を目指して楽しく美化運動を進めよう」と



▲クリーンアップ運動出発式(村保健センター前)

また、本村では昨年の十二月に村環境美化推進協議会を発足、サミットに向けて本格的な美化活動を展開している。



▲捨てられたゴミを丁寧に回収する皆さん

サミット成功に向けて 村内クリーンアップ運動を展開



▼記念品を手に喜びの受章者

氏は今、叙勲の重さをひしひしと感じている。これを契機にさらに精進を重ねて地域社会のために貢献していきたい」と決意の言葉

- 受章者は次の方々です。
▽金城辰雄氏(77才、仲宗根、那覇市在住、双光旭日章)
▽宮里政輝氏(75才、仲宗根、那覇市在住、旭日小綬章)
▽比嘉盛一氏(77才、今泊、瑞宝章)
▽外間宏常氏(86才、仲宗根、那覇市在住、双光旭日章)
▽新城繁雄氏(78才、今泊、瑞宝章)
▽嘉手納典一氏(84才、今泊、瑞宝章)
▽王城啓佐氏(76才、仲宗根、浦添市在住、瑞宝章)
▽玉城賢三氏(73才、玉城、瑞宝章)
▽末吉熊助氏(88才、崎山、単光旭日章)
▽山内昌雄氏(77才、仲尾次、瑞宝章)
▽玉城一昌氏(73才、湧川、大宜味村在住、瑞宝章)
▽与那嶺貞氏(91才、与那嶺、読谷村在住、人間国宝)

これまで地方自治や教育、文化など各分野での功績により人間国宝並びに叙勲を受章した十二氏をたたえる祝賀会(村主催)が一月二十七日、村コミュニティセンターで開かれ、関係者約二百人が見守るなか、受章者一人ひとりに

記念品と花束が贈られた。祝賀会で上間博安村長が「皆様は今帰仁村民の誇り。今後とも豊富な見識と尊い経験を村政発展のために力を貸していただきたい」とあいさつした。

力ある「なきなた」などの琉舞が披露され、受章者を祝福した。

十二人の受章者を村民が祝福 人間国宝・叙勲受章祝賀会

呉我山で生活改善実施 経費節減に期待



「日常生活にかかる経費を少しでも節減しよう」と呉我山(島袋祐太郎区長)では一月十四日に行われた字総会で生活改善運動の取り組みについて協議した結果、次のような内容で生活改善を実施する

島袋区長はこの取り組みが少しでも各家庭の経費節減につながれば」と期待を寄せた。また、現在生活改善を実施している字は今泊、諸志、仲尾次、崎山、呉我山、湧川の六カ字となった。

御会葬の皆様へ
香典料を千円とし
香典返し礼状の廃止
と取決め致しました
呉我山区生活改善に
御理解と御協力を
御願ひ致します
平成12年2月1日
呉我山区民

生活改善に御理解と御協力を御願ひします
法事1. 77歳、1年忌-13年忌まで香典返し礼状の廃止
法事2. 25年忌、33年忌香典料2千円
香典返し礼状の廃止
平成12年2月1日
呉我山区民

①祝い事(出産、生年、合格、入学、卒業)などについては、記念品のお返しは一切廃止し、祝いは二千円。
②葬祭については香典料を千円とし、香典返し並びに七七忌(四九日)のお札状は一切廃止。ただし法事(二十五年忌、三十三年忌)の香典料は二千円。それぞれ二月一日より実施されている。

▲生活改善を村民にアピールする島袋区長

山形の自然を満喫 雪国でわくわく体験 「ふれあい少年の翼」



最上川スワンパークでカモやカメに餌をやる団員たち

「少年の翼」での思い出

天底小六年 嘉陽 美希

二月八日～十二日まで、今帰仁村「少年の翼」の団員として山形県酒田市での研修に参加してきました。

私はこの研修に参加する自分に「いつも明るく、積極的な発言と行動」という課題を与えました。いざ山形に着くと、初めての雪やスキー、酒田市の暖かい食事に感動し、私の心はいっぱいになってい

本村の「ふれあい少年の翼」の一行(謝花良俊団長、引率八人、団員四十二人)は、二月八日から十二日までの日程で山形県酒田市を訪問した。

児童を同県に派遣して氣候、風土、文化、歴史、自然などを直接体験させ、あらためて郷土の良さを知ることや学校や地域のリーダーとして活躍することを目的としたこの交流事業は今年で十回目。昨年の十二月には酒田市の子どもたちが本村を訪れ、南国の生活を楽しんでいる。

今回、現地での受け入れ校となった中平田小学校では、歓迎会や記念品交換、交流レクなどが行われ、レクでは地元の子どもたちが中平田地区に伝わる巖かたで勇壮な伝統芸能、神楽と獅子舞を披露し、沖縄の子どもたちから大きな拍手が送られていた。

また、交流期間中は羽黒山でスキー教室も行われ、一面の銀世界に児童らは「寒い、寒い」を連発しながら、元気にスキーや雪だるま作り、雪

ました。それから自分の中にたくさんのお土産をいただくことができました。

一つ目は、一日一日を責任を持って行動し、自分の中で目標が達成できた時にやりとげたという満足感につながったことです。

二つ目は、思いやりの心です。だれにでもやさしい気持ちで接する地域の人たちの温かい心に触れ、とても幸せな気持ちになりました。思いやりを感じる温かい心に触れた時、自分から進んであいさつができ、触れ合うことで他人とのコミュニケーションがとてもスムーズにいき、楽しく過ごすことができました。

私は、言葉では言い尽くせないほどの充実した研修を終え、自分に与えた課題も達成することができたので、今とても満ち足りています。

これからもこの研修で学んだ責任感、行動力、思いやりの心を忘れずに先生になりたいたいという自分の夢に向かって

合戦などを楽しんだ。

この交流事業で遠く離れた北と南の子どもたちの友情の絆はさらに深まった。沖縄に帰ってから本村の子どもたちの目はいきいきとして輝きを失わず、沖縄ではできなかった多くの体験が大きな成長の糧となったことを印象付けた。児童らの交流の様子を写真と感想文で紹介します。



かぐらと獅子舞を見事に演じた中平田小学校の子どもたち

中学、高校と頑張っていくみたいです。

「少年の翼」を終えて

湧川小六年 嘉陽 沙織

「少年の翼」の事前研修で友達をつくる勇氣と友達を思いやるやさしさを身につけた

おかげで、山形県酒田市の中平田小学校の皆さんとの交流会で文通の機会をつくることができ、さらにはばしょうせんべいやあられ焼きという初めて口にできる食べ物も楽しむことができました。

また、酒田でのスキーや雪、初めて乗る飛行機はこれまで経験したことなかった私にとって、まったくびっくりすることばかりでこの研修が私の知識を大きく広げてくれました。

事前研修からずっといっしょである「少年の翼」の団員たちは、ほとんど学校が違う知らない人ばかりで慣れるのに少し時間がかかりましたが、同じ部屋で寝たり、いっしょにお風呂に入ったりと、



▲マジでこれって本物の飛行機だよ。怪物みたーい!



▲私だって練習すれば国体選手になれるぞー?



▲アツアツ……ばしょうせんべいっておいしいね! ちょっとこぼちゃった!



▲こわかったけど高いところから滑れたよ!



▲調べてみよう!! 雪は雪でどんな雪?



▲アチコーコーの 豚汁とおにぎりおいしいね
▲笑顔がいいね...

共に行動することでたくさん友達ができました。これからも中平田小学校の皆さんはもちろんのこと、いっしょに酒田に行った仲間たちとも文通をしたり、時間があれば会って話をしたいです。

私は、この研修でほんとうにたくさんのお友達と学ばせていただきました。自分が気づかないうちに伸びている面もあると思います。それは自分が周囲の人たちに支えられているのも、また自分であるということ。この「少年の翼」で学んだいろいろなことをこれからの学校生活に役立てていきたいと思っています。

雪国の世界で

古宇利小六年 小波津 健

ぼくが酒田で一番楽しかったことは、何と言っても二日目に羽黒山でスキーをしたことです。ぼくはスキーをするのが初体験だったので、初めは上手に滑れませんでした。が、何回も練習しているうち

にうまく滑れるようになりました。そしてリフトに乗り高所から一気に滑って行くと、とても気持ち良くそこから見る景色は、周り一面が真っ白なじゅうたんを敷いたみたいでとても美しかったです。

次の楽しかったことは、中平田小学校と交流会をしたことです。ぼくたちが中平田小学校に着いた時、その小学校の皆さんが温かく迎えてくれたので、とても感激しました。そしてぼくたちのためにセーターやホッカイロまで準備してくれてほんとうに助かりました。また、それだけでなく「小さな手の会」の皆さんが作ってくれた、豚汁とおにぎり。はととてもおいしかったです。それから、中平田小学校の皆さんとあられやせんべいを焼いて食べた。クイズをしたり、とっても楽しい時間でした。

ぼくは、この研修で酒田市の歴史や文化などを学び、中平田小学校の皆さんの心やさしい歓迎で、とっても楽しい研修をすることができました。また行きたいです!

地域の援助に感謝

西日本大会出場記念コンサート

「天底小」



▲活動の成果を披露する天底小金管バンド部の皆さん

これまでお世話になった地域の皆様への感謝の気持ちと六年生の卒業を祝して二月五日、村コミュニティセンターで天底小学校金管バンド部(仲本光夫校長)の西日本大会出場記念コンサートが開催された。会場には地域の人たちや関係者約二百人が詰め掛け曲が演奏されるたびに大きな拍手が送られた。

同校バンド部は渡慶次淳子先生の指導のもと、これまでの活動実績が高く評価され、平成十一年二月の九州小学校管楽器フェスティバルや今年一月の沖永良部・兵庫県神戸文化センターで行われた全国小学校管楽器フェスティバル(西日本大会)では会場の多くの観衆を魅了した。また、西日本大会においては関西今帰仁村人会(上間重夫会長)並びに多くの皆様から心温まるご寄付がありました。

仲本校長は「皆様方の物心両面からの援助に対し心から感謝したい」とお礼を述べていた。

村民が歓迎 ヴィッセル神戸 今帰仁でキャンプイン



▲練習試合にも一段と熱が入るヴィッセルの選手ら

Jリーグヴィッセル神戸の選手・スタッフ四十二人が二月十日、キャンプのため来村。同日午後からさっそく練習を開始した。ヴィッセルのキャンプは今年で三度目。十九日まで滞在し、村運動公園で練習に励んだ。

川勝監督が「昨年は皆様のおかげで過去最高の成績を収めることができた。今年もしっかりと練習してJリーグに備えていきたい」と抱負を述べた。昨年七位と大きく躍進したヴィッセル、今年は一気に優勝を目指す。

また、キャンプ期間中の二月十三日には県一部選抜や高校選抜、北部選抜との練習試合も行われ、村内外から多くのサッカーファンが詰め掛けた。

ヴィッセルの コーチらが サッカー教室

二月十日から村運動公園で春季キャンプを張っているヴィッセル神戸のコーチらが十三日、同公園でサッカー教室を開き、大勢のちびっ子たちでにぎわった。

コーチらは各チームごとに分かれた将来のJリーガーたちに試合を通しての実技指導やシュートの仕方など細かくアドバイスを与えていた。

その後、子どもたちはあこがれの選手から用意してきた色紙やサッカーボールにサインをもらい大喜びだった。



▲サッカー少年にシュートのコツを教えるヴィッセルのコーチ

「天然記念物を保護育成する会」 が講演会を開催

(財)日本財団の助成を受け、このほど発足した村内のボランティアグループ「天然記念物(フタオチョウやコノハチヨウ)を保護育成する会」(村田精太郎代表)主催の講演会が二月四日、村保健センターで開かれ、会員約三十人が参加した。

講師は安座間安史先生(名護高校教諭)。「今帰仁の緑豊かな森とそこに棲む蝶たち」と題して講演した。安座間先生は「水に恵まれ多様な地質、土壌を持つ今帰仁村は動植物にもすばらしい環境」と本村の自然環境の特異性を語った。

同会では、三月中旬と下旬にもそれぞれ講演会を企画しており、多くの方々の参加を募っている。

お問い合わせ(代表 村田精太郎) ☎五六一三三二

区民の創意工夫で 見事なチリ置き場完成

玉城

玉城(新城堅一区长)ではこれまで活用してきたチリ置き場の老朽化に伴い、このほど字内十カ所に新しいチリ置き場が設置され、字の公衆衛生に大きな役割を果たしている。

このチリ置き場は、カラスや犬、猫などの侵入を防止するため周囲にワイヤーメッシュを張り巡らした区民の創意工夫を凝らした傑作。

新城区長は「すばらしいチリ置き場が完成し区民に喜ばれている一方で、通りすがりの人たちがチリを捨てて行くので大変迷惑している。自分のチリは自分で処理してほしい」と呼び掛けた。



▲完成したチリ置き場を前に新城区長



▲北山女子7位でゴールする知念愛選手(写真右)と男子アンカーの宮城慶太選手

第7回 県高校新人駅伝競走大会 北山女子7位、男子14位

業が独走で三年連続五度目の優勝を飾り、女子は豊見城南が2位以下に五分以上の大差をつけて七連覇を達成した。

また、地元北山女子は昨年の11位から7位、男子は18位から14位とそれぞれ順位を上げ、大きく躍進した。

因みに、北山男子はテニスやバスケット、サッカーなどの各部から寄せ集めた選手で構成されたにもかかわらず、14位は立派。今後、上位進出を狙うためには一日も早い駅伝部の結成が待たれる。



春たけなわの今日この頃、村民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

昨年末から今年の二月にかけて、とても寒くなりましたね。それに応じて連日テレビなどのマスコミでは、「インフルエンザ」が話題となり、ワクチン不足が報じられていました。昨年これによる死亡者が出たことで、国民みんなが危機的意識をもって予防に気をつけた結果だと思えます。冬の終わりにつれてインフルエンザの蔓延は徐々におさまってくると思われま

もう一つ、同じ風邪症状で感染するおそれのある病気があります。それは「結核」です。しかも「結核」はインフルエンザのように冬流行するという时期的な注意をしていれば良いというものではなく、条件がそろえば年中どの時期でも感染するものなのです。厚生省では、一九九九年七月二十六日に、結核緊急事態宣言を行っています。それは、結核患者数が三十八年ぶりに増加したことに起因しています。特に困ったことは、

次の三点に集約されます。(一)見つかった時にはもう、人に感染するほどの力を持った結核として重症化している患者が増えたこと(二)二十代・三十代の人で、塗抹陽性(前述の重症化した結核の状態)で見つかる人が多くなったこと。 ※この層は、最も活動的な世代であるため、人に感染する機会も多いので、発見が遅れた場合は大変な事になります。(三)七十歳以上が全体の三分の一以上を占め、増加率も一番大きいこと。

以上述べた三点の他、集団感染も続出しているという特徴が表れています。学校はもちろん、事業所でも集団感染が多発しています。また、驚いたことに、病院や福祉施設といった、医療関係の施設でも発生しているのです。これは、いちがいに言えませんが、国民の結核への関心がうすれたことも影響しています。

インフルエンザと同じように、結核も予防や早期発見、早期治療が大切です。その第一歩として、定期健診があります。学校や一部の事業所では、きちんと受けられていると思いますが、それ以外の人たちは住民健診を受けていただきたいものです。「結核? 自分には関係ないさー」「健康だからもうながらく健診はしてないよ」「長い間咳が続いているけど、別に風邪だから放っておけば治るだろう」。 さて、この中の誰か一人で

も結核にかかっていたら? あるいは全員がそうだったら? : 発見されないまま、感染者がどんどん増えていくことでしよう。平成十一年度の村住民健診で、胸部レントゲンを受けた人の中で、結核と診断された方が二人もいました。村では、約五千名余りが健診の対象となっていますが、決してその半数が受診しているわけではありません。偶然その二名が発見されただけで、残りの半数以上に感染者がいたら? 結核は、決して昔の病気で

はありませぬ。「インフルエンザ」と同じように、私たちは今こそ危機的意識をもつべきではないでしょうか。 『こころの健康づくり週間』 3月15~21日まで 標語: 疲れたら、つくる「心の休養日」

自分では気づきにくい心の SOS

一〇〇数年の日本の自殺者総数は、年間二万四千人から二万五千人でした。ところが、一九九八年には、三万一千七百五十五人と大幅に増えました(平成十年度厚生省人口動態統計)。この数字は、一年間の交通事故死者数の約二倍に当たります。自殺は、ストレスによる心の病(うつ病など)が最も大きな要因であると考えられています。うつ病は、感情、意欲、思考、体のさまざまな面で支障が現れます。しかし、患者の多くはそれをつつ病から生じている症状であるとは自覚できず、治療を受けていない人も多いのが現状です。うつ病は、早期に発見して適切な治療を受ければ、大部分は改善されます。本人が心の不調に気づきにくい場合は、家族や友人など周囲の人が気を配り、専門医の診察を勧めるなどのサポートをしてあげることが大切です。

写真にみる今帰仁

100 最終回

戦後、間もない頃の民家と教室

戦前の今帰仁の人々の家は茅葺き屋根の家が一般的で数多くあった。近世から建築に使う材木の制限があり、また身分(貴族・士族・平民)によって屋敷や屋根の材料などに制限が加えられていた。それが解かれたのは明治二十二年になってからである。明治になって屋敷や建物の制限が解かれたが、地頭代やノロ家などウエーキ(富豪)を除いた多くの人々は、まだ茅葺き屋根の住まいが主で、瓦葺きの建物は番所(役場)や学校などであった。

建物の多くが南側に向き、一般的な住まいは二棟建ての茅葺きである。母屋と炊事場の二棟建てである。母屋と炊事場の間はトタンの雨樋で雨漏りを防いでいた。茅葺き屋根の家は、夏は涼しく冬は暖

かったと言う。一番の敵は、やはり台風だったようだ。一枚目は、戦後数年の村内の民家である。母屋の柱は石柱で、壁は板が用いられている。小さな台所のある棟の壁はチニブと茅で、外にバンドー(水甕)が置かれている。戦後の民家の規模は、近世の

制限を踏襲しているものではなく、復興期の建物である。二枚目の写真は、学校の教室の一棟である。敗戦後、材木や瓦など物資のない時代。テントの仮小屋や茅葺きの教室が使われていた。建物の回りにつつかい棒が何本もあり、倒壊を防いでいるのであ



▲今帰仁村の茅葺き屋根の民家(昭和25年頃)



▲茅葺き屋根の馬小屋教室(昭和25年頃)

ろう。ムカデ教室や馬小屋教室などと呼ばれていた。日中は暗く、雨天の日には雨水が入り込み田んぼ状態であったという。

おわりに 平成二年六月にスタートした「写真にみる今帰仁」は今回で百回(最終回)を数える。その間に百八十枚の写真を紹介することができた。主なものに風景や神アサギ、あるいは人々・今帰仁城跡・運天港・役場の建物・人物・古

宇利島・仲宗根のマチ・生活・祭祀・塩田・学校・公民館・仲原馬場・上空からみた字(アザ)などである。毎回念頭にあったのは、ムラ・シマとは何かという問いと、ムラの移り変わりを記録することであった。写真を手掛かりに今帰仁の様々な出来事をつひとつ拾うことができた。同時に写真が文献史料と同様に時代を写し出していることに気づかされた。 その間、村民から数多くの貴重な写真の提供があった。特にメルビン・ハッキンス氏やクロイド・クリスマン氏や新城徳佑氏から、まとまった写真の寄贈があり、お陰で話題を欠くことなく継続することができた。写真をはじめ、それにまつわる話題の提供、また読者のお力添えがあり、十年間、百回のシリーズを無事に終えることができました。紙面を借りてお礼申し上げます。

仲原 弘 哲 (歴史文化センター)



日本レフティ ゴルフ協会が寄付 村育英会へ八万円

日本レフティゴルフ協会（川上哲治会長、元読売巨人軍監督）、主催によるレフトイゴルフ大会が二月八日、嵐山ゴルフ倶楽部で開かれ、全国各地からレフトイゴルフアーティスト（二十一人）が参加した。これはボランティア精神の習得と普及、並びに社会に貢献する組織を目的に実施されているもので、大会終了後の表彰式で村の育英資金として有効に活用して下さいと川上哲治会長から大城藤夫村教育長に寄付金八万円が贈られた。大城村教育長は「皆様のご好意に心から感謝し、村の人材育成に役立てていきたい」とお礼を述べた。

事件・事故は110番

- 通報ポイント
- ①何があったか
 - ②いつ、どこで
 - ③犯人はいるのか、逃げたのか（人相、特徴、逃走方向）
 - ④今どうなっている
 - ⑤あなたの住所、名前、電話番号
- ※車両使用は車両ナンバーのメモを

☆言葉が不自由な方のためにファックス110番 098-862-8110
☆目の不自由な方のためにフリーダイヤル110番も設置してあります。

総合相談は#9110 又は863-9110

☆あなたの地域の警察署☆

那覇署 836-0110	嘉手納署 956-0110
豊見城署 850-0110	具志川署 973-0110
糸満署 995-0110	石川署 964-4110
与那原署 945-0110	名護署 0980-52-0110
浦添署 875-0110	本部署 0980-47-4110
宣野湾署 898-0110	宮古署 09807-2-0110
沖縄署 932-0110	八重山署 09808-2-0110

☆各種情報・相談の窓口☆

ヤングテレホンコーナー	098-862-0111
少年サポートセンター	098-862-0110
性被害者相談電話	098-868-0110
覚せい剤等情報110番	098-862-1483
けん銃情報110番	098-867-1024
暴力団情報110番	098-862-0007
悪質商法110番	098-861-9110
極左暴力集団110番	098-864-0110
運転免許テレホンサービス	098-868-3401



「大地震救援募金を贈る、村子ども会」

村子ども会はこのほど村子ども会まつりで募金した一万九百二円を台湾の大地震で被害を受けた子どもたちに贈った。この募金は子ども会まつりで企画から運営まですべてを司った村ジュニアリーダーの提案で行われたもので、まつりに参加した多くの方々から心温まるご芳志をいただいた。

「ご寄付」

村社会福祉協議会へ
○親川恵一さん（今泊一四五）より父、紋明様の香典返しとして十万円。
○匿名、おとば学園のために役立てて下さいと寸志二万円。
村育英会へ
○玉城一昌さん（湧川出身、元大宜味村議会議長、大宜味村在住）より村の人材育成に十万円。
ご芳志ありがとうございます。

あまから 伝言板 くまから

平成12年度 国民健康保険証の切り替えについて (お知らせ)

国民健康保険証の切り替えを下記の日程で行います。現在使用中の保険証と印鑑を持参して下さい。
国民健康保険制度は、保険税収入と国の補助金により保険給付費等の費用を賄うことを原則とした社会保障制度です。納付された税金の割合が低くなりますと国からの補助金がペナルティーとして一部カットされます。平成11年度は国保税の約1割にあたる1,900万円余の減額が予想されております。国保はみんなでささえあう制度でありますので、滞納することは、みんなに迷惑をかけることになります。国保税をまだ納められてない方は、切り替え時までには必ず納めて下さい。

国民健康保険者証更新日程

場所：各字公民館

字名	月日	曜日	時間
今泊	3月1日	水曜日	午後5時～8時
兼次	3月2日	木曜日	〃～7時
諸志	3月3日	金曜日	〃～7時
与那嶺	3月6日	月曜日	〃～7時
仲尾次	3月7日	火曜日	〃～7時
崎山	3月8日	水曜日	〃～7時
平敷	3月9日	木曜日	〃～7時
越地	3月10日	金曜日	〃～7時
謝名	3月13日	月曜日	〃～7時
仲宗根	3月14日	火曜日	〃～8時
玉城	3月15日	水曜日	〃～7時
呉我山	3月16日	木曜日	〃～7時
湧川	3月17日	金曜日	〃～8時
天底	3月21日	火曜日	〃～7時
勢理客	3月22日	水曜日	〃～7時
渡喜仁	3月23日	木曜日	〃～7時
上運天	3月24日	金曜日	〃～7時
運天	3月27日	月曜日	〃～7時
古宇利	3月29日	水曜日	午前10時～12時

※3月1日～31日間は、村役場国保窓口で更新を行っています。各字で更新できない方は役場窓口を御利用下さい。

固定資産税 課税台帳

縦覧は
4月3日～
4月28日

平成12年度の固定資産税の基礎となる固定資産税台帳（土地・家屋・償却資産の価格などを記載した台帳）の縦覧を次のとおり行います。
これは、平成12年度の賦課期日（平成12年1月1日）現在に
所有されている固定資産について記載したものです。この際に家屋の有無、土地の現況地目等をご確認くださいようお願いいたします。
◎期間
四月三日～四月二十八日（土日、祝祭日を除く）
◎時間
午前八時三十分～午後五時十五分
◎場所
村役場税務課固定資産税係
※本人以外の資産については、所有者の委任状が必要です。

村体育協会（臨時）職員募集

- 応募資格
・村内に居住し、高校卒業以上の学力を有する者又は、それと同等の学力を有する者で体育事業に関心のある者
- 申込手続
・履歴書1通（顔写真貼付）を体育協会へ提出して下さい。
- 職種
・書記会計
- 募集受付及び締切期限
(1) 受付/体育協会（村役場庁舎裏プレハブ）
(2) 期限/平成12年3月1日(水)～24日(金)

※くわしくは村体育協会(☎56-2101 内線124番)へ

3月/弥生

1	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター) ○北山高校卒業式
2	木	
3	金	
4	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
5	日	
6	月	○区長会 (15:00~2階会議室) ○健康相談 (9:00~11:00 保健センター)
7	火	
8	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター)
9	木	○県立高校入試
10	金	○県立高校入試
11	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
12	日	○兼中、今中卒業式
13	月	○健康相談 (9:00~11:00 保健センター)
14	火	○親子教室
15	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター) ○湧小中、古小中卒業式 ○無料法律相談及び行政相談 (10:00~16:00)
16	木	○牛セリ (セリ市場) ○県立高校合格発表
17	金	
18	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
19	日	
20	月	○春分の日

21	火	○区長会 (14:00~2階会議室) ○大琉球ミュージカル映画「ナビイの恋」 (13:30、16:00、18:30 上映 コミセン)
22	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター)
23	木	○デイクア
24	金	○兼小、今小、天小卒業式
25	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
26	日	
27	月	○健康相談 (9:00~11:00 保健センター)
28	火	○村立保育所卒園式
29	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター)
30	木	
31	金	

4月/卯月

1	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
2	日	
3	月	○健康相談 (9:00~11:00 保健センター)
4	火	
5	水	○区長会 (14:00~2階会議室) ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター)
6	木	
7	金	○兼中、今中、湧小中、古小中、北山高校入学式
8	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)

編集後記

■一月から二月にかけて暖かい日が続いたり、寒波が続いたり気温の変動が激しいせいでしょうか、今年も子どもたちを中心にインフルエンザが大流行し、猛威を振るっている。なかには学級閉鎖も余儀なくされている学校もあるらしい。日頃から規則正しい生活をして予防に努めることが肝心。

■二月四日は「立春」。二十四節気の一つで暦の上では春が始まる時期とされるが沖縄ではまだまだ寒さのピーク。しかしサクラはすでにあちらこちらで満開、本格的な春の訪れはすぐそこまで。

■この時期農家にとってサトウキビの収穫やキクの出荷などに猫の手を借りたいほどの忙しさである。雨の日の作業は一段と寒さが身にしみることだろうと思いますが、皆さん風邪をひかないように頑張ってください！